

討 論

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。(発言順に掲載)

議案第 69 号 加西市農業共済条例の制定について

可決 (賛成 13、反対 1)

共済加入は全国の農業に携わる人たちが被害を支え合うという考え方のもとに制度化されたと考える。任意加入になれば全体で守るという、共済制度本来の趣旨が大きく変わっていく。引受方式が多様化すればするほど、農会が一律に手続を行っていくことは非常に困難となり、加入者が減少していく。今回の改正は、農村における相互扶助の仕組みを弱め、零細な農家も含め農業のあり方を大きく変えていくものではないか。このような制度の変更は、弱いところに影響を及ぼし、さらに離農する方々がふえていくのではないかと強く危惧する。

反対



井上芳弘 議員



森元清蔵 議員

賛成

任意加入となることで加入者数が減るのではないかとという心配については、加入推進奨励金制度により多くの方に加入していただける工夫がされると考える。一筆方式は平成 33 年までとなり、それ以降は多様な引受方式となるが、各町への説明を行い、よりよい方向を目指していくべきと考える。

無事戻し金の廃止に対し、危険段階別掛金制度の導入により最大 2 分の 1 の掛金になる。また、家畜共済についても死亡、廃用と疾病傷害が分離され、一部の被害のない人たちの負担軽減が図られるようになっている。

鳥獣害、病害は、必然的に起こる。この制度のおかげで助かったという声は多く聞いている。負担軽減に資する方策を考えながら、この共済制度を維持していただきたい。

議案第 79 号 平成 29 年度加西市一般会計の決算認定について

認定 (賛成 13、反対 1)

こども園について、北条地区、加西地区では全体の整備基本計画を地域協議会で立て進められてきた。教育委員会は、泉地区でも地域協議会で協議をし、計画を定めたとしているが、結果は協議会で策定されるに至っておらず、最終的に委員長に判断が委ねられ、基本的な計画にかかわる答申という形で出され、一気に進めてきたところに違った経緯がある。議論を尽くし時間がかかっても整備基本計画を立て、地域に説明しながら進めるべきであった。

反対



井上芳弘 議員



深田真史 議員

賛成

財政について、一般会計の市債残高は 197 億円までふえており、西村市長が就任した 23 年度決算と比べ 56 億円も増加している。借金返済にあたる公債費が起債（借金）よりも下回る状況が 5 年も続いており、基金残高は県下最低水準の 30 億円となっている。大変厳しい状況であり、今後を憂慮する。徹底した行財政改革の必要性を痛切に感じる。

一方、加西市はさまざまな事業を控えているが、市道鶺野飛行場線・豊倉日吉線の工事着手の延期、加西インター周辺の産業団地整備の不確実さ、南部学校給食センターの建設延期、鶺野ミュージアムの地域活性化施設への転換など、慎重かつ着実に、誠実に物事を進める意識が欠けているのではないかと。行政への信用に関わることであり、楽観的な事業計画や説明は自省すべきだ。また、小規模化が進んでいる小・中学校について、新教育長の下であり方の議論を活発化させてほしい。